

令和元年度老人保健健康増進等事業

介護サービス事業所の職場環境等に関する調査研究事業

株式会社三菱総合研究所

1. 事業実施目的

介護職員処遇改善加算については、2019年度介護報酬改定に関する審議報告において、「介護人材の確保等の目的が達成されたか効果検証を行うとともに、介護職員の確保に当たっては、処遇改善だけではなく離職防止に向けた総合的な取組を行うことが適当である」とされた。

本事業は、上記の審議報告を受けて、これまでの介護職員処遇改善加算において介護サービス施設・事業所に求めてきた職場環境等の要件が介護人材の確保等に与えた効果について把握するとともに、その結果も踏まえ介護現場で求められる職場環境改善の取組について整理を行うことを目的に実施した。

2. 事業の概要

(1) 文献調査の実施

文献調査では、人材の採用や定着、離職等が職場環境に応じ、どのような影響を受けるか等に関して、これまでの先行研究を調査し、介護現場における人材の採用や定着等に寄与する要因を検討し、それら要因に基づき、本事業で実施するアンケート調査やヒアリング調査での論点を整理することを目的に実施した。

(2) 介護サービスを提供する法人へのアンケート調査の実施

令和元年10月時点の介護サービス情報公表システムに登録されている介護職員処遇改善加算、介護職員等特定処遇改善加算の対象サービスを提供する法人11,155件を対象とし、介護職員処遇改善加算の算定要件である「キャリアパス要件」「職場環境等要件」について、法人としての取組実態やその効果について、アンケート調査により把握した。

(3) 介護サービスを提供する法人へのヒアリング調査の実施

介護職員処遇改善加算の算定要件である「キャリアパス要件」「職場環境等要件」について、法人や事業所での実態を踏まえた意見や取組の実態等を把握することを目的として、介護サービスを提供する法人4か所を対象にヒアリング調査を実施した。

3. 事業結果の概要

文献調査では、介護現場における人材の採用や定着等に寄与する要因について人材の採用から復職までの時系列で動機付け要因と衛生要因で整理した。アンケート調査及びヒアリング調査では、文献調査で整理された要因に関連する介護現場での職場環境に関する取組の実態を把握した。

これらの結果から、介護人材の定着においては、「研修」や「処遇」、「キャリア・評価・スキル」等の充実を含む職場環境の整備や、職場における円滑かつ効果的なコミュニケーションの実現等の複数の要素が複合的に影響を与えていることが示唆され、それら要素について介護現場で求められる職場環境改善の取組について整理した。

以上